



ほういじしゃく なんぼく
方位磁石はなぜ南北をさすの

じしゃく エヌきょく エスキょく
磁石にあるN極とS極

ほういじしゃく いと すいへい じゆう うご じしゃく いっぽう
棒磁石を糸で水平につるして、自由に動けるようにしておくと、磁石の一方のはしが、
きた む エヌきょく はんたい みゆみ
いつも北を向いてとまります。これをN極といいます。また、反対の南をさしているほう
エスキょく
をS極といいます。

ほういじしゃく あか いろ エヌきょく あお みどり エスキょく
ふつう、棒磁石で赤い色でぬられたほうがN極で、青または緑にぬられたほうがS極で
す。

ちきゅうぜんたい じしゃく
地球全体が磁石

ほういじしゃく じしん なんぼく ちきゅう おお じしゃく
方位磁石（磁針）がいつも南北をさすのは、地球そのものが大きな磁石になっているか
らがくしゃ はっけん
らです。イギリスの科学者ギルバートがこのことを発見しました

ちきゅう ほっきょくふきん エスキょく なんきょくふきん エスキょく ほういじしゃく じしん
地球の北極付近はS極、南極付近はN極になっており、このため、方位磁石（磁針）は
エスキょく きた エスキょく みゆみ エヌきょく エスキょく ひ あ ちから
N極が北をさし、S極が南をさすのです。これは、N極とS極はたがいに引き合う力がは
たらくからです。（監修 国司 真）

●地球の磁界

